

# 祝島のこころみ

～原発反対から、

海とともに生きる自立した島へ～



2010. 11. 27  
@カタログハウス本社  
セミナーホール



瀬戸内海の中でも豊かな自然が残る麗しの周防灘をのぞみ、古くから漁業を生業として暮らしてきた祝島（いわいしま）の人々は、命を育む豊かな海の恩恵を未来の子どもたちにも残していこうと、長年にわたって開発に反対し、島の暮らしを守ってきました。

中国電力が祝島から3.5キロの対岸、田ノ浦に上関（かみのせき）原子力発電所を建設する計画を発表したのは、1982年のことです。祝島の人々は以来28年に渡ってこの計画に反対してきました。いま、原発建設に先立って、田ノ浦の埋め立て計画が進行しています。

計画への反対が若い世代の共感と呼んでいる中で、祝島には、海を守るだけでなく、エネルギーの自給自足を目指している人たちがいます。

「祝島島民の会」から、映画『ミツバチの羽音と地球の回転』出演者である山戸孝さんを招いてお話を開きます。日本生態学会上関要望書アフターケア委員で、貝類多様性研究所所長の山下博由さんにもご参加いただき、「奇跡の海」とよばれる上関・田ノ浦の生態系のすばらしさを解説していただきます。みなさんのご参加をお待ちしています。



山戸 孝さん

写真提供：映画『ミツバチの羽音と地球の回転』/グループ現代

日時：2010年11月27日（土） 午後2時～5時（1時半開場）

場所：カタログハウス本社セミナーホール <http://www.cataloghouse.co.jp/study/>

東京都渋谷区代々木2-12-2 カタログハウス本社ビル B2F/JR新宿駅南口から徒歩8分

お話：山戸孝さん（上関原発を建てさせない祝島島民の会）

山下博由さん（日本生態学会上関要望書アフターケア委員、貝類多様性研究所所長）

\*祝島と田ノ浦の写真展示あり

資料代：500円 定員：100人 / 要予約（氏名、連絡先をお知らせください）

予約および問い合わせ先：TEL 03-3357-3800、FAX 03-3357-3801、E-mail [dousuru\\_net@mail.goo.ne.jp](mailto:dousuru_net@mail.goo.ne.jp)

主催：上関原発どうするの？～瀬戸内の自然を守るために～ <http://kaminoseki.blogspot.com/>

認定NPO法人原子力資料情報室（03-3357-3800 担当：永井・伴） <http://cnic.jp>

映画『ミツバチの羽音と地球の回転』/鎌仲ひとみ監督 グループ現代 2010年作品



未来のエネルギーをどうするのか？祝島とスウェーデンでエネルギーの自立に取り組む人々の物語

瀬戸内海に浮かぶ祝島の真正面に原発建設計画が持ち上がって28年。島民は一貫して建設に反対してきた。島では海藻や鯛をとり、無農薬のびわを栽培して千年も前から生活が続けられている。最も若い働き手孝くんは妻子を抱えて自立を模索している。その行方を阻むように着々と進められる原発計画。島民は一体となって阻止行動に出る。

孝くんの眼差しの中にはスウェーデンの取り組みがある。足元にある資源で地域自立型のエネルギーを作り出すスウェーデンの人々が目指すのは持続可能な社会。それを支えるのは電力の自由市場。原発重視かつ電力独占体制の日本のエネルギー政策を変えるためにはどうしたらいいのか？そして、祝島の未来はどうなるのか？